

(第7号様式の2)

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	コロナを乗り越える！！若年妊産婦応援事業
2 事業実施期間	令和4年 7月 ～ 令和5年 2月
3 事業実施内容 *具体的に記入してください。	<p>(実施日、場所、対象者、参加人数、内容、周知方法など)</p> <p>A)当法人運営「10代ママくらぶ」を「にじの森文庫(松川在)」他にて月2回開催。対象は「10代で妊娠をした方」とした。周知方法は、ちらしを関係機関に設置して頂いた他、那覇市保健所ご協力の下、当事者へ直接情報を提供して頂いた。</p> <p>7月 🌻 29個/26世帯 7日・21日 13:00～14:30 送迎付 8月 🌻 37個/31世帯 4日・18日 13:00～14:30 送迎付 9月 🍊 36個/29世帯 15日 13:00～14:30 送迎付 10月 🍊 45個/32世帯 6日・20日 13:00～14:30 送迎付 11月 🌻 38個/29世帯 10日・24日 13:00～14:30 送迎付 12月 🍷 37個/31世帯 1日・15日 13:00～14:30 送迎付 1月 🍷 42個/37世帯 5日・19日 13:00～14:30 送迎付 2月 🌸 34個/28世帯 2日・16日 13:00～14:30 送迎付</p> <p>B)教育機関(泊高等学校)と協働でママ・パパ学生へ校内にて配付ブースを設け、相談受付と併設配付 1月8日 その他個別対応</p> <p>C)対象者自宅(個別訪問) その他 20日間程度…随時/日中～夜間帯</p> <p>D)配付時には同時にヒアリングを行い、必要な支援に繋がっていない方は、行政サービスや各種団体へ繋ぎ、社会資源の活用を促した。</p>
4 事業実施における数値目標	240個・200世帯への配付
5 上記4の数値目標の達成度	124パーセント達成・121パーセント達成 (298個・243世帯へ配付完了)

<p>6 事業の成果</p>	<p>(対象や地域、社会にどう貢献したかなど)</p> <p>○今回、本事業においてミルク等の配付を行ったことで、直接的な経済支援となった。</p> <p>ミルクは乳幼児にとって命に直結であることから、ミルクの確保は必須である。</p> <p>しかし、1個の値段が2千円程度するため月1万円前後の金銭確保は保護者にとって大きなプレッシャーであるが、その一部を社会で負担することで経済的支援のみならず、精神的支援にも繋がり、そこから波及するママ自身の「ゆとり」は、思春期という発達過程の中で子育てをする困難な状況を支えることにも繋がった。</p> <p>その結果、ママの子どもへの接し方にも影響が現れ、10代産婦の課題とも言われている児の愛着形成にも繋がる他、ママ自身の母性も促進され、乳幼児期においては多大な影響があったと思われる。</p> <p>○助成金を活用することで「社会で支える」「あなたはひとりじゃない」というメッセージを届けることも出来た。</p> <p>どなたからも心からの謝意が述べられ、物資の提供は生活・精神の両面において大変厳しいコロナ禍を乗り切るための一助となった。</p> <p>○10代妊産婦は、若いがゆえに、妊娠・出産している友人からも少なく、育児情報はネットに頼らざるを得ない方も多い。そのため、信頼性の高い情報が得られていない方は誤った情報の下、一人で育児をしている方も少なくない。</p> <p>今回の事業では、当法人専門職（助産師や社会福祉士、キャンリアンコンサルタント）がミルク配付時に相談対応も同時に行うことで正しい育児情報の提供ができた。また、地域サービスへ繋ぐことで孤立しやすい10代妊産婦を地域へ繋げることも出来た。</p> <p>また、本法人の事業だけでは足りない支援は、他団体と連携することで、1人の人に他機関が関わり、支援の輪を広くすることで長い子育て期間を地域で支え合う事に繋がっている。</p>
----------------	---

<p>7 評価</p>	<p>① 良かった点、工夫したこと</p> <p>○10代妊産婦は中々出会える機会は少ないが、行政（保健所）や教育機関（高等学校、就学支援センター）と協働で取り組むことができ、多くの対象者と出会うことができた。</p> <p>特に高等学校内で学生ママ・パパと出会える場を設定させていただけたことは、「信頼のできる場所（学校）からの紹介」という事で、その後、必要な支援にも繋がりがやすかった。</p> <p>○当該事業で物資をお届けできることにより、これまでSNS相談が中心であったママたちとも訪問にて対面することが出来、当事者のニーズをより把握しやすくなった。そのお陰でスムーズな支援に繋がり、他事業との相乗効果が得られたと思われる。</p> <p>○本事業が助成金で実施され、「社会で支える」というメッセージを明確に伝えるために、配付する物資へ助成事業のロゴを入れたシールを貼り、視覚でも分かるようにした。</p> <p>② 苦労したこと、改善点、今後に活かしたいこと</p> <p>○一世帯のきょうだい児が想定以上に多く、予算が限られていたため、後半は配布数を制限せざるを得なかった。</p> <p>また、ミルクは各商品の値段の差が大きいため、人によって補助金額に差が生じた。</p> <p>○新たな視点としては、教育機関との協働では「10代パパ」とも出会う機会があり、急遽若年パパも配付対象とした。</p> <p>今後に活かしたい。</p>
-------------	---

<p>8 今後の展開 (継続、内容変更、終了など)</p>	<p>①今後の展開</p> <p>○まだまだコロナ禍の影響を受けているため、物資支援を継続する。</p> <p>○本事業で繋がった10代妊産婦の皆さんと継続して関り、10代妊産婦の先輩として、当法人の事業の一部を有償ボランティアスタッフやアルバイトとして手伝ってもらい収入を得ながら社会貢献へ繋がる人材育成にも力を入れていく。</p> <p>○物資の支援だけでなく自立に向けた就労支援も強化する。</p> <p>就学中であれば本来受けられていたであろう職場体験を含むキャリア教育の機会を逃している方は多い。そのため、自分が何をしたいか「分からない」と答える方も多数おり、就労希望の際はこれまでアルバイトで経験したことのある職種を選択しがちであった。</p> <p>職業への興味関心の理解から支援をすることで本人の自己実現に向けた動機づけとなり、中長期的な人生計画の下、安定した就労・経済力に繋がる可能性がある。そのための自立に向けたサポートを実施する。</p>
<p>9 その他の意見、感想など</p>	<p>本事業は、孤立感を解消し、多くの笑顔を引き出しました。孤立しがちな10代妊産婦が人や社会と繋がるきっかけにもなり、一人で抱え込まなくてもよいことを実感する機会にもなったことと思います。助成していただきありがとうございました。</p>
<p>10 事業実施に関して協力(連携)した行政機関・他団体の有無。該当する箇所に<input checked="" type="checkbox"/>等を記入してください。)、協力の内容について記入してください。</p> <p>行政の協力 (<input checked="" type="checkbox"/>企画立案に協力 <input type="checkbox"/>資金提供 <input checked="" type="checkbox"/>告知などの協力 <input checked="" type="checkbox"/>その他(配付に協力))</p> <p>他団体の協力 (<input type="checkbox"/>企画立案に協力 <input type="checkbox"/>資金提供 <input checked="" type="checkbox"/>告知などの協力 <input checked="" type="checkbox"/>その他())</p> <p><input type="checkbox"/>無し</p> <p>行政や他団体への今後の連携についての期待・要望など</p> <p style="text-align: center;">(今後もこのような助成を継続し、団体支援をお願い出来れば助かります。)</p>	